

文教大学教育学部 理科専修では 総合型選抜が始まりました

「理科」という教科の基盤となるのは、実証科学である自然科学です。そのため、観察・実験をベースにした自然の理解は、理科には欠かせないものです。

小学校では「理科」は子どもたちの最も好きな教科の一つですが、高学年では「教科担任制」が導入されつつあり、理科の専科の教員（いわゆる「理科の先生」）が増えると予想されています。そのため、観察・実験を適切に指導できる教員が求められています。

中学校以降では、新学習指導要領のもとで探究型の理科授業に転換しつつあります。数式を用いたり直接目には見えない原子・分子が登場するなど抽象化もすすみますが、観察・実験を通して、生徒自らが見出した問題を解決していく授業を行うことが必要になります。

そこで、文教大学教育学部理科専修では、従来の学力試験や推薦入試に加え、理科の観察・実験から自然を理解する能力に秀でた人、観察・実験に熱意を持って取り組む人、そして将来、小学校・中学校・高等学校の教師を目指す気持ちを持っている人を主な対象として、2023年度入試（2022年実施）より総合型選抜を開始しました。



BUNKO

文教大学



文教大学教育学部では、総合型選抜を拡充しました

2021年までは美術専修のみでしたが、現在は理科・音楽・家庭・幼児心理教育専修でも実施しています

2021年まで

美術専修



理科専修

2022年から

音楽専修

美術専修

家庭専修

幼児心理教育専修

出願期間：9月1日～9日

試験日：10月13日(日)

詳細は入試要項をご覧ください



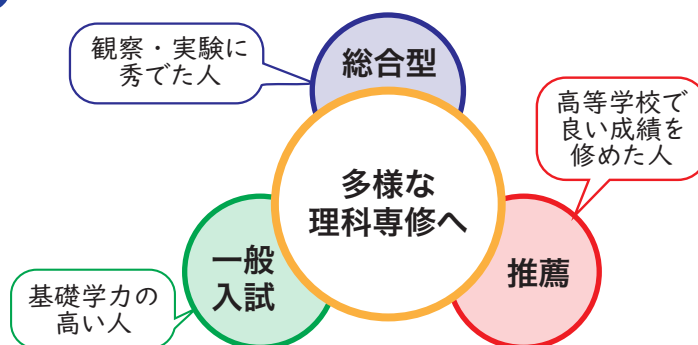
文教大学 入試情報はここから

入学試験要項>総合型選抜>教育学部

理科専修の学生の多様性

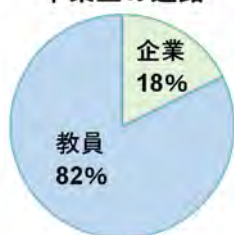
高校までに観察・実験をがんばってきた人や、地道な勉強を積み上げ高校で良い成績を修めた人、そして高い基礎学力を持ち、一般入試で合格してきた人々が集まり、お互い刺激しあい高めあう環境を作ります。

将来さまざまな場で活躍できる理科教員の養成のために、多様な学生に入学してきてほしいと考えています。



教員採用に強い理科専修

2023年度 理科専修
卒業生の進路



2023年度理科専修卒業生17名のうち、14名が学校教員になりました。実に82%にのびります。

小学校で理科を担当する教員に注目が集まっています。例えば、埼玉県では、今年は中学校理科の合格者の中から若干名を理科専科教員として小学校に配置するとしています。また東京都では「小学校全科(理科コース)」を設けており、中学校または高等学校理科の免許保持者が応募できます。

理科専修の授業と取得できる免許

小学校一種・中学校理科一種・高等学校理科一種免許が取得できます。そのため、理科の授業だけではなく、小学校全科の内容と指導法の授業も履修します。理科専修では、ほとんどの卒業生がこの3つの免許状を取得しています。

中等教育科目(理科)

初等教育科目(全科)

教職科目

実習科目

教養科目



化学実験



模擬授業

理科専修の教員が担当する科目は、中高理科免許に関する科目(内容と指導法)、小学校免許に関する科目のうち理科(内容と指導法)です。また、4年生になると、各教員の研究室に配属され、卒業研究を行います。

問い合わせ先 文教大学入学センター
〒253-8550 神奈川県茅ヶ崎市行谷1100
TEL 0467-54-4300

文教大学教育学部 理科専修
〒343-8511 埼玉県越谷市南荻島3337

文教大学教育学部ホームページ →
<https://www.bunkyo.ac.jp/faculty/education/>



← 理科専修ホームページ

<https://www.koshigaya.bunkyo.ac.jp/kyo-rika/>

